

## 粘土塗料クレイペイント磨き仕上

クレイペイントは、薄手のステンレスコテ等を使い、石の様な磨き壁を作る事が出来ます。

### 【下 地】

ローラー仕上よりも不陸を拾いやすいので、下地処理は念入りに行ってください。また、下地を均一にする為に、また、下地の色の差異を隠蔽する為にクレイペイントホワイトを全面に塗ることをおすすめします。

### 【手 順】

クレイペイントをよく攪拌し、一度に塗布する分を別容器に取ります。磨き仕上はゴミや塵があるときれいに仕上がらないため、容器に移す時にこれらが入らないように目の詰まった布等でクレイペイントを漉します。

また、作業中、埃が舞うような作業と同時に行う事、乾きが早くなるため、窓や扉を開けておく事は避けてください。

漉したクレイペイントを短毛ローラー等で1~2㎡塗り付けます。塗り付けたクレイペイントの表面から水分が引いてきた頃に、ステンレスコテで、平滑にしごく様に押さえます。乾燥してしまうと押さえる事が出来ないなので、1度に広い面積を塗らずに1~2㎡位ずつ行ないます。



ローラーで次の1~2㎡分を塗っておき、②で押さえた部分が完全に乾燥する前に、クレイペイントを塗り重ね、水分の引き具合を見ながら、平滑にしごく様に押さえます。

“ ②・③ ” の作業を繰り返しながら、塗り広げていきます。この作業を 3~4 回繰り返し行う事で深みが出ます。また、ここまでの材料の重なり具合やコテの動かし方が微妙な色、模様をつくります。

### 【仕 上】

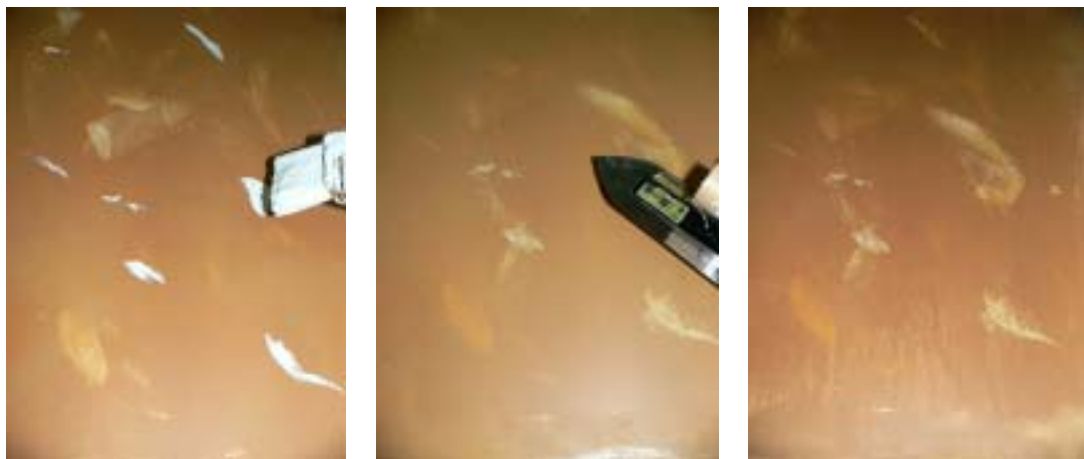
“ ”まで進めた部分が完全に乾燥する前に、ステンレスコテでしごく様に磨き、ツヤを出します。丁寧に磨くことで、ツヤのある石の様な表情に仕上がります。

## 【仕上応用】

他の色を途中に加えることで、大理石風に仕上げる事が出来ます。



ベース色を塗り重ねる直前に柄付けの色を乗せ、平滑に延ばし、ベース色を塗ります（写真例ベース色:オレンジ、柄付け色:ホワイト）



再度、柄付けの色を乗せ、平滑に延ばし、ベース色を塗り重ねます

乾燥する前に磨き、艶を出します

